

農業農村整備事業意見交換会・要望活動

＝島根県農業農村整備推進協議会＝

島根県農業農村整備推進協議会（会長・楫野弘和大田市長）は10月11日参議院議員会館1階102会議室において農業農村整備事業意見交換会を開催しました。意見交換会には進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議員、本県からは楫野島根県土連会長、田中副会長ほか総勢30名が参加しました。

はじめに農村振興局整備部設計課の鈴木技術調査官より『農業農村整備事業予算概算要求の概要』について説明、その後、進藤参議院議員から『日本の食料を考える』と題して、持続可能な食料システムの構築に向けた基調講演を頂き、参加者からは地域の実情や今後の政策への期待など、様々な意見があり有意義な意見交換会となりました。

また、11日、12日の両日に島根県農地・水・環境保全協議会（会長・田中武夫安来市長）と共催で財務省、農林水産省及び県選出国會議員に対して【活力ある農業と地域を支える農業農村整備の推進】について要請活動を行いました。（進藤金日子参議院議員講演資料 別添のとおり）



要請活動の様子（財務省）



意見交換会の様子

財務省・農林水産省・県選出国會議員への要望

- 1 令和5年度農業農村整備事業関係予算について、食料自給力の維持・向上を通じて食料安全保障に寄与する土地改良事業の計画的・安定的な推進を図るとともに、島根県農林水産基本計画に基づく水田園芸等の取組や、担い手不在集落の解消及び中山間地域等の特色を生かした農業・農村の振興等を、計画的・集中的に推進するため、地域の要望に十分応えられる予算を確保すること
- 2 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の長寿命化、豪雨・耐震化対策等を迅速に実施するために必要・十分な予算を確保すること
- 3 多面的機能支払制度について、集落が取り組みやすい制度とするため、制度内容を簡素化し、基礎的な取組の交付単価を引き上げること。また、鳥獣被害防止の共同活動をより一層支援するため、継続的な加算措置を設けるなど同制度の拡充を図ること
- 4 人口減少と高齢化が著しい中山間地域において、農地の無秩序な荒廃を防ぎ、粗放的な利用を含む土地利用の最適化を通じた農地保全を推進するため、最適土地利用制度を充実・強化すること。また、中山間地域等直接支払制度について十分な予算を確保すること
- 5 土地改良区の運営体制の強化のために、国県営事業により造成された基幹的水利施設の管理強化に対する支援の拡充を図るとともに、土地改良施設の維持管理に係る電気料金の高騰対策を講ずること

◆ 農業農村整備事業意見交換会・要望活動	1
◆ 農業農村整備の集い開催	2
◆ 令和4年度土地改良区役職員等研修会を開催	2
◆ 農事用電力高騰に係る農家負担軽減対策を知事へ要望	3
◆ 令和4年度疎水ネットワーク研修会に参加	3
◆ うしおの沢池農業用水・水資源保全活動を実施	4
◆ 第65回県土連通常総会等開催日時決定	4
◆ 11月の主な予定	4

農業農村整備の集い開催

全国土地改良事業団体連合会（会長・二階俊博和歌山県土連会長）が主催する「農業農村整備の集い」が、10月20日東京都千代田区・砂防会館別館シェーンパッハ・サボーで開催され、国会議員及び土地改良関係者1,060余名が全国から参集（本県からは14名が参加）しました。

主催者挨拶で二階会長は、「農家の方々の期待に添えられるように十分な予算確保に向けて一致団結する必要がある。また、男女共同参画社会への取り組みにより一層力を入れ、闘う土地改良は限りなく続くので、男女ともに一致団結して更なる闘いを続けていきましょう」と強い結集を呼びかけられました。

また、来賓として出席した藤木眞也農林水産大臣政務官ほか遠藤利明自民党総務会長、森山裕TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、江藤拓総合農林政策調査会長、武部新自民党農林部会長、進藤金日子会長会議顧問等から祝辞が述べられ、森山裕本部長からは「ロシアのウクライナ侵攻によって、我々は食料安全保障という問題がいかに大事な課題か強く感じた。全ての畑・田に作物を作ること、そのためにはいかに土地改良を進めていくかが重要である。皆さんの農政に対する熱い気持ちをしっかり受け止めて、当初予算でしっかり位置付けていきたい」と表明されました。

閉会后、各都道府県代表者が農林水産省などを訪れ要請文を手渡され、本県出席者は県選出国會議員に土地改良予算の十分な確保を要請しました。



会場の様子

令和4年度土地改良区役職員等研修会を開催

10月25日（火）、松江市のくにびきメッセ「多目的ホール」において、令和4年度土地改良区役職員等研修会を開催しました。この研修会は県内土地改良区及び市町村の役職員を対象とするものでコロナ禍の自粛を経て数年ぶりに70名余が出席しました。

研修会は、共催の鳥根県土地改良区運営基盤強化協議会事務局である鳥根県の竹中農村整備課長の挨拶で始まり、講演では、鳥根県立大学の豊田知世准教授が学生を指導されている経験、今後の農業や男女共同参画についてご講演をいただきました。

また、県内ではじめて女性理事登用を実現した掛屋干拓地土地改良区の渡部事務局長から事例発表があり、中国四国農政局の柵木次長他、全国水土里ネットの室本専務理事からは令和7年までの女性理事登用推進のための事例や手続きについての説明がありました。

集合研修後は、鳥根県土地改良区運営基盤強化協議会の主催で10名の土地改良区理事長等との意見交換会が開催され、女性理事登用に係る現状についての聴き取りが行われました。

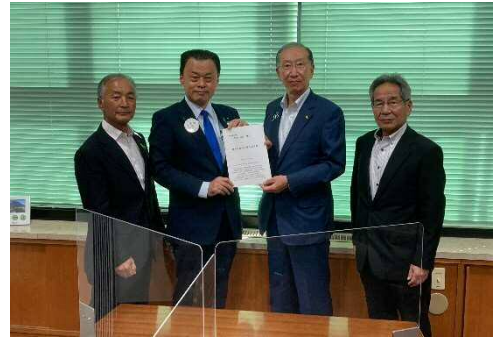
現在、鳥根県内では、5土地改良区において女性理事が就任又は就任予定となっています。



研修会場の様子

農事用電力高騰に係る農家負担軽減対策を知事へ要望

10月19日、農事用電力高騰による農業水利施設の維持管理費用の増加等に対する農家負担軽減対策について、島根県知事に対して要請活動を行いました。要請活動には、県土連の楫野会長（大田市長）、県内土地改良区を代表して田中平田中央土地改良区理事長、遠藤出雲市斐川土地改良区理事長、本会より高橋常務理事が参加しました。



丸山知事へ要望書を手渡す楫野会長、田中理事長（右）、遠藤理事長（左）

楫野会長らは要望先に対し、「今年に入り農事用電力は、原油高やウクライナ情勢、円安の影響等で高騰しているが、県内土地改良区では主にかんがい排水用設備で多量の電力を使用していることから、節電には努めているものの、電気料金の負担が大きくなり、このまま高騰が長期化すれば農家に賦課金の値上げをお願いせざるを得なくなるため、農業水利施設の維持管理費用の増加等に対する農家負担軽減対策をお願いする」と要請。

これに対し丸山知事は、「必要性は認識している。どのようなことができるのか11月議会に向けて検討していきたい。」と述べられました。

令和4年度疎水ネットワーク研修会に参加

令和4年10月24日（月）、東京都千代田区の砂防会館別館3階会議室（六甲）において、「令和4年度疎水ネットワーク研修会」が開催され、本会から1名が出席、4名がWEBで参加しました。（疎水ネットワークは、疎水の果たす役割をPRするために平成18年に設立）

研修会では、疎水ネットワーク 中川会長、農林水産省農村振興局 緒方水資源課長の開会挨拶後、第1部の基調講演では、全国土地改良事業団体連合会 室本専務理事から「歴史から学ぶ土地改良とは」という演題で、疎水の歴史や疎水を管理する土地改良区の機能について説明がありました。

第2部では、仕事に直結するいまどきの話題というテーマで、「土地改良団体のウェブサイトの有効活用について」、「小規模施設から適応できるスマート水管理」、「我が社における男女共同参画の取組」の3つについて講演があり、どの講演も、これから土地改良区を発展させていくために大切なことであり、最新の情報を取り入れていく必要性を感じるものでした。

第3部のグループ懇談では、第2部の講演の中のひとつについて、日ごろの課題等を出し合って意見交換を行いました。講師の方からのアドバイスもあり、貴重な時間となりました。



グループ懇談会の様子

うしおの沢池農業用水・水源林保全活動を実施

令和4年10月18日(火)に雲南市大東町山王寺のうしおの沢池において「うしおの沢池農業用水・水源林保全活動」が行われました。当日は小雨が降り気温が低い中、島根県19名、雲南農業農村整備推進協議会3名、しまね農村災害ボランティアネット20名、沢池環境整備プロジェクト7名、水土里ネット島根11名の総勢60名で草刈りを行い、約2時間の作業によって、気持ちよく歩ける遊歩道になりました。

ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



集合写真

第65回県土連通常総会等 開催日時決定

第65回県土連通常総会を下記のとおり開催いたします。

当日は、他の総会も予定しておりますので日程調整をお願いいたします。(別途ご案内済み)

開催日	令和5年2月16日(木)	場所	松江市学園南1-2-1 「くにびきメッセ 1階 小ホール」
時間	13:00~	・島根県農地・水・環境保全協議会総会	
	14:00~	・島根県土連第65回通常総会及び令和4年度土地改良功労者表彰式	
	16:00~	・島根県農業農村整備推進協議会総会	

11月の主な予定

開催日	行事等	開催地
11月7日(月)	令和4年度農業農村整備事業に関する意見交換会	松江市(本会)
11月21日(月) ~23日(水)	第44回全国土地改良大会(沖縄大会)	沖縄県

みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水
「土」・・・土地や農地
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活

水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp